

琵琶湖学特論 ～琵琶湖を自然、人との関わりから考える～

授業の目的と概要

琵琶湖の自然、人々の営みなどについて、専門的な立場から講義するとともに、個々にかかえている問題点を議論する。このような講義や議論をふまえて、琵琶湖に関する環境問題や人とのかかわり方の実態や変化を理解し、その将来像を探るとともに、広く水環境についての洞察力を深めてゆく。

授業の到達目標

【基本的到達目標】

琵琶湖のもつ様々な価値について理解し、それらを後世に残すために必要な専門的な考え方や態度について思索できるようにする。

【発展的到達目標】

一般的に流布している琵琶湖の価値やその環境保全の内容について、批判的思考(クリティカル・シンキング)に基づいた検討をすることができる。

担当教員

教育学部 石川 俊之 教授

開講曜限

火曜日 3限 (12:50~14:20)

開講日

10月 6、13、20、27日

11月 10、17、24日

12月 1、8、15、22日

1月 5、12、19、26日

会場

大津キャンパス

受講形態

対面授業

※うち2回分を集中講義(琵琶湖博物館見学)として実施予定。日程は受講生と相談して決定。

「滋賀の環境(滋賀県環境白書)」、「滋賀の水産」など県庁が発行している定期刊行物は、各自所在を確認しておいてください。講義内の資料の多くをこれらの行政刊行物から引用しています。

【参考書】『琵琶湖:その環境と水質形成』宗宮功編著、技報堂出版、2000。『琵琶湖はいつできた:地層が伝える過去の環境』里口保文著、サンライズ出版。『琵琶湖岸からのメッセージ:保全・再生のための視点』西野麻知子他著、サンライズ出版、2017。『琵琶湖と環境:未来につなぐ自然と人との共生』琵琶湖と環境編集委員会編、サンライズ出版、2015。『おいしい琵琶湖八珍:文化としての湖魚食』滋賀県ミュージアム活性化推進委員会編、サンライズ出版。『わたし琵琶湖の漁師です』戸田直弘著、光文社。『びわ湖を語る50章:知ってますかこの湖を』琵琶湖と環境編集委員会編、サンライズ出版、2001。

教科書情報 (補足)